



オペラシアターこんにゃく座

日本語がはっきりわかるオペラを創作上演するオペラ劇団として 1971 年に創立。マイクをとおさない歌声、ピアノ、様々な楽器の生演奏による作品を数多く上演。歌役者の歌い語り演じる力によって、劇場に限らず、体育館その他様々な会場を一日だけのオペラハウスに変えていきます。

オペラ『口はロボットの口』受賞歴

東京都教育委員会優秀賞

(社) 日本演劇協会賞

(財) 都民演劇賞



台本・演出：鄭義信

作曲：萩京子

美術：乗峯雅寛

衣裳：太田雅公

照明：増田隆芳

振付：伊藤多恵

舞台監督：久寿田義晴

特殊小道具：渡辺数恵

音楽監督：萩京子

宣伝美術：長谷川義史 (絵)



ちやうしゆ
鄭義信 / 劇作家・脚本家・演出家 / 兵庫県出身
舞台・映画・テレビ等の脚本やシナリオを数多く手掛ける。
『ザ・寺山』(岸田國士戯曲賞) 『愛を乞うひと』(日本アカデミー賞最優秀脚本賞) 『焼肉ドラゴン』(読売演劇大賞) 他受賞多数。



はぎきょうこ
萩京子 / 作曲家 / 東京都出身
オペラシアターこんにゃく座、座付き作曲家兼ピアニスト。
1997年より音楽監督、2004年6月より代表に就任。
代表作『おぐりととてて』『アルレッキーノ』他多数。

とってもこころがあったかくなりました。

とてもエネルギーで笑いも悲しみも希望も有りて
最初から最後まで一気にあっという間でした。

～アンケートより～

オペラシアターこんにゃく座



作曲 萩京子
台本・演出 鄭義信



初めまして、ぼく、テト。
パン製造ロボットRKJ502A001です。
空は飛ばません。

こんにゃく座が、
こどもたちと、
こどもだったすべての
おとなたちに贈る
SF ファンタジーオペラ。

オペラシアターこんにゃく座

〒214-0021 神奈川県川崎市多摩区宿河原 7-14-1

TEL 044-930-1720 FAX 044-930-1721 MAIL info@konnyakuza.com URL http://www.konnyakuza.com

ぼく、パン製造ロボット RKJ502A001、名前はテト。ぼくのたった一つだけ得意なこと、それはパンをつくることです。

パン工場では親方のママ・モンローのもとパンロボたちが毎日楽しくパンを作っています。ところがある日から毎日千個つくれたはずのパンが1個ずつ減ってきました。

テトはドリトル博士に直してもらうために、たったひとり東のはずれにあるイーストランドへ旅に出ます。しかしそこでは魔女たちが町を支配していました…。

人間の女の子ココに出会い、町中の人々が魔女のせいだで困っていることを聞きます。

テトは町の人々を助けるために、パンを作り続けボロボロになってしまいます。

魔女の一味がココの家に火をつけたことを知ったテトは自分の体を顧みず助けに行きます。

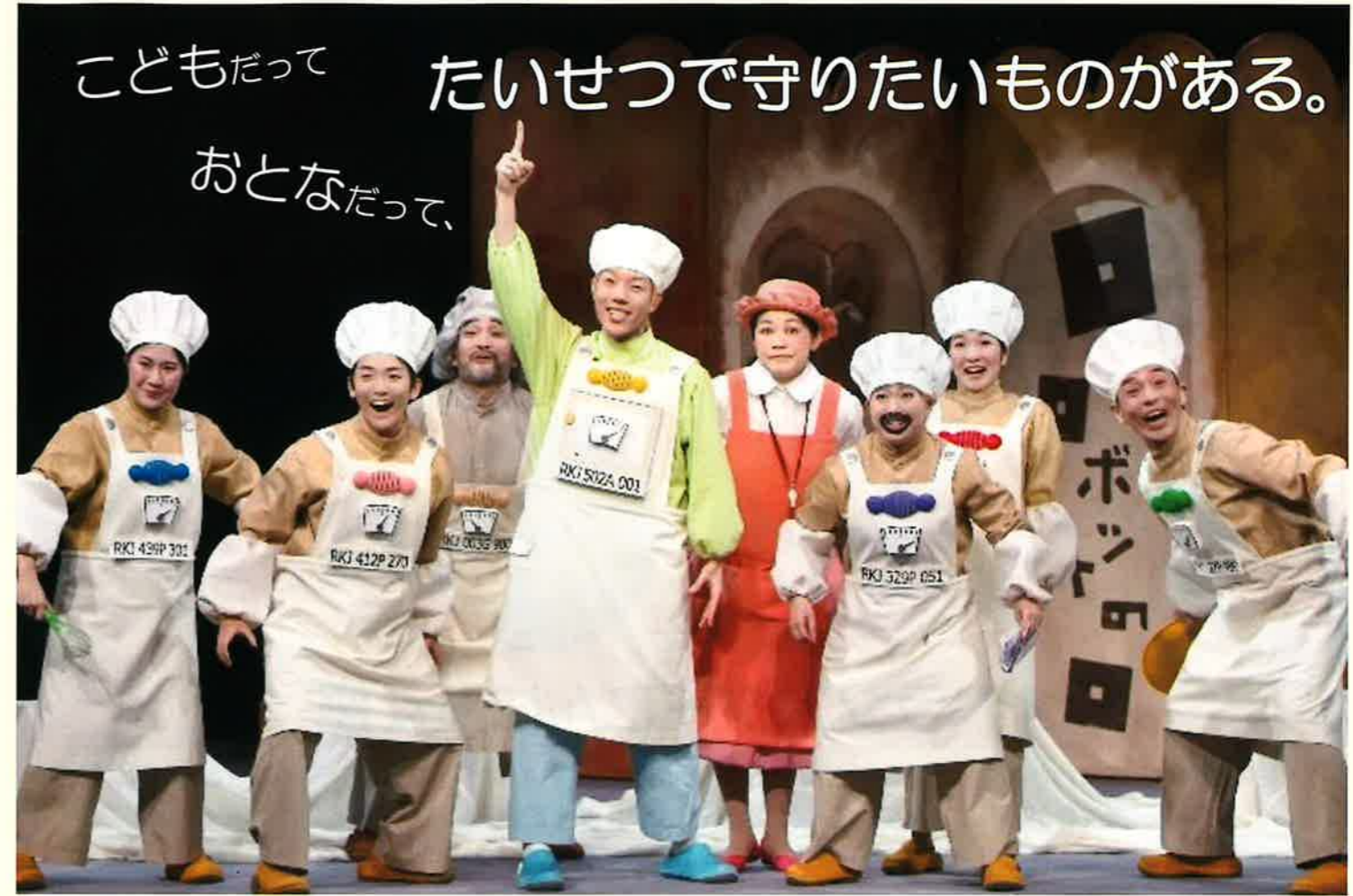
エネルギーを使い果たしたテトは、もう2度と動くことができなくなってしまいました。ココと父のエドはテトがいつか帰ってくることを信じて「テトのパン屋」で今日も元気にパンを作ります。

テトは果たして戻ってくるのでしょうか!?

こどもだって

たいせつで守りたいものがある。

おとなだって、



みどころのみ 作曲 萩京子

自分にとっていちばんたいせつなことはなんなのか、テトといっしょに考えてみませんか。オペラ『口はロボットの口』は、音楽でお話が進んでいきます。楽しい歌がたくさんあります。思わず口ずさみたくなる歌も。それから、歌が会話になっているところもあれば、合唱もあります。ロボットたちの不思議なダンスもあります。8人の出演者が30人以上の役を演じます。1台のピアノがオーケストラに負けないくらい、いろいろな音を出して、登場人物の嬉しさや悲しさや悔しさ、そして喜びを表現します。スピーディーな場面展開、とてもコンパクトにしてダイナミック。オペラのさまざまな要素がみんな入っています。そして、とても懐かしい気持ちにさせてくれるオペラです。「テトのパンはあ。あいうえおのあ。忘れていた青空のあ。」オペラを見た帰り道、歌ってください。

台本・演出 鄭義信

人はだれでもいつでも、自分にとって大切に、絶対守りたいものがひとつはあるはずだと思う。どんなにちっぽけな夢、希望、愛であっても。それを守るためなら、子どもだって大人だって、どんなに弱い人間だって一生懸命立ち上がっていけるんだって思う。自分にとって大切なものは何だろうって思ってほしい。

そしてこの作品を、生きることへのエールみたいに思ってもらえたらいいな。



写真：青木司・姫田蘭